平成25年11月5日

各 位

上場会社名　株式会社 ピーエス三菱
代表者　代表取締役社長 勝木　恒男
（コード番号　1871）
問合せ先責任者　経理・財務部長 宅野　伸二
（TEL　03-6385-9111）

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年3月期第2四半期決算において、下記のとおり特別利益を計上しましたので、その内容をお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1.特別利益の内容

当社は、平成12年度から同15年度における国土交通省関東地方整備局、近畿地方整備局および福島県がプレストレスト・コンクリート工事として発注する橋梁の新設工事の入札に関して、平成16年10月15日付で公正取引委員会から独占禁止法の定めに基づく排除勧告を受けておりましたが、平成22年9月21日付で排除措置を命じる審判審決を受け、同年10月22日に審決が確定したことから、予想される損失額を平成22年3月期決算および平成23年3月期決算にて、特別損失として計上しておりました。

当社は、上記審決に伴い、公正取引委員会に対して課徴金を納付し、また国土交通省関東地方整備局、近畿地方整備局および福島県に対して違約金および損害賠償金の納付をそれぞれ完了したことから、平成22年3月期決算および平成23年3月期決算にて計上した金額との差額421百万円を平成26年3月期第2四半期決算にて特別利益に計上いたしました。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	△320	△390	△530	△12.50
今回修正予想(B)	46,500	△520	△560	△360	△7.59
増減額(B-A)	1,500	△200	△170	170	
増減率(%)	3.3	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成25年3月期第2四半期）	38,581	△641	△732	△895	△23.95

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	1,200	1,000	700	16.50
今回修正予想(B)	106,000	800	570	630	13.29
増減額(B-A)	6,000	△400	△430	△70	
増減率(%)	6.0	△33.3	△43.0	△10.0	
（ご参考）前期実績（平成25年3月期）	91,351	233	152	△244	△5.77

平成26年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,000	△460	△470	△530	△12.50
今回修正予想(B)	42,000	△920	△810	△440	△9.28
増減額(B-A)	―	△460	△340	90	
増減率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	34,690	△987	△982	△1,038	△27.77

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,000	600	530	400	9.44
今回修正予想(B)	93,300	180	480	750	15.82
増減額(B-A)	3,300	△420	△50	350	
増減率(%)	3.7	△70.0	△9.4	87.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	81,766	△685	△594	△749	△17.69

修正の理由

1.個別業績予想

（1）平成26年3月期第2四半期（累計）個別業績予想

売上高は、前回予想とおりの見込みでありますが、建築工事の一部で工事採算が悪化したため、営業利益については前回予想より約5億円、経常利益は約3億円下回る見込みであります。当期純利益については、上記の特別利益の計上により前回予想から約1億円好転する見込みであります。

（2）平成26年3月期通期個別業績予想

売上高は、上期の受注が順調に推移しており前回予想より33億円増加する見込みでありますが、今後も厳しい事業環境が続くことが予想され、第2四半期にて建築工事の一部で工事採算の悪化を見込んだことにより、営業利益は前回予想より約4億円下回る見込みであります。当期純利益については、営業外収益の改善と上記の特別利益の計上により前回予想を約4億円上回る見込みであります。

2.連結業績予想

（1）平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想

連結業績予想につきましては、主に個別業績予想の修正に伴うものでありますが、営業利益、経常利益については、子会社において営業利益が増加しているものの、個別業績の見直しにより前回予想より約2億円下回る見込みであります。当期純利益については、上記の特別利益の計上により前回予想から約2億円好転する見込みであります。

（2）平成26年3月期通期連結業績予想

売上高は、個別業績と同様に受注が順調に推移しており前回予想より60億円増加する見込みであります。営業利益、経常利益については、子会社の営業利益が増加する見込みでありますが、個別業績の見直しにより前回予想より約4億円下回る見込みであります。当期純利益については、前回予想を約1億円下回る見込みであります。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上